

令和6年 林業における死亡労働災害（北海道内）

番号	災害発生日時等	年齢等	災害発生状況
6年 NO1	1月19日 午前11時頃	男 50歳	被災者は、土場でグラップルによる集材作業中、運転席右側のフレームとブームを動かすシリンダーの間に、上半身が挟まれた状態で発見された。集材中にグラップルのクローラが枝を巻き上げ、それが運転席右側の窓ガラスを突き破り、被災者が運転席から枝を取り除こうと割れた窓ガラス越しに身を乗り出した際に、右足がブームを動かす操作レバーに当たり、ブームのシリンダーが降下して、上半身が挟まれたと推定される。
6年 NO2	11月12日 午後3時頃	男 66歳	被災者は、トドマツ等の皆伐作業現場で、土場において積込み作業を行っていたが、同僚の運転するフェラバンチャのところに道具類を歩いて持っていこうとしたところ、放置されていたかかり木（樹高24mのドロノキ）が高さ18mのところから落下し、地上の伐倒木に跳ね返ったかかり木の枝に頭部を激突された。被災者は保護帽を着用していなかった。
6年 NO3	11月27日 午後2時頃	男 36歳	被災者は、スギの皆伐現場で、玉切りのための印付け作業を行っていたところ、斜面上方約30mの場所に立っていた高さ約21mのスギが倒れ、斜面を滑り落ちて、被災者の頭部に激突した。当該スギは、被災者がチェーンソーにより、受け口及び追い口をつくったまま、立った状態で放置されていたものである。
6年 NO4	12月16日 午前9時頃	56歳	被災者は、カラマツ人工林の皆伐現場で、重機作業を行うために作業道を徒歩で移動中、作業道の下側斜面（傾斜20度）で伐倒を行っていた別の作業員が伐倒した高さ約30mのカラマツが倒れてきて、当該カラマツの先端部が被災者の胸部に激突した。